

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	身体拘束をしないケアに努めているが、2階の利用者様がエレベーターで1階に移動すると、職員の目が行き届かない為、2階のユニットの出入り口には常時鍵をかけている。	2階のユニットの出入り口の鍵を開放する。	開放する時間帯を決め、1時間から開始し徐々に時間を延長していくと共に、職員の見守りの対応の強化を図る。	6ヶ月
2	52(19)	全体にすっきりと清潔に整えられている。建物の玄関には皆で作ったアジサイの花の作品が飾られているが、利用者が常時過ごしているユニット内は居室の廊下壁面やリビングに装飾や日用品などがほとんどみられず、生活感があまり感じられない。	リビングに本や雑誌、小物など利用者が楽しめるものの配置を考慮し、またユニット内以外にも職員の見守りにて過ごせるスペースを作る。	リビングに本や雑誌、雑貨小物などを置き、利用者がくつろいで楽しめるスペースの確保をする。	6ヶ月
3	4(3)	外部からは、地域包括支援センターの職員、民生委員が出席している。内容は事業所からの報告を基に、自由に話し合っている。利用者も会議に参加して、自分の思いを話している。家族の参加は少ない。	運営推進会議でテーマを決め参加者への呼びかけ開催、運営につながる内容の工夫をする。	運営推進会議のテーマを決め案内状にて事前に連絡し、会議で意見うもらい運営に生かしていく。	6ヶ月
4	26(10)	家族とは電話やメールでやり取りし、サービス担当者会議で検討して介護計画を作成している。3ヶ月ごとに新たな計画を作成しているが、検討内容と計画の変化のつながりが見えにくいところがある。	具体的な短期目標を設定し、実施状況や検討内容を次の計画に明確につなげる。	より、細かく目標を設定し、実施状況や検討を次へと繋げていけるようにする。	6ヶ月
5	10(6)	訪問が少ない家族も多く、家族との連絡は電話が中心となっている。家族が意見を言いやすくなるよう、日頃の様子を利用者の写真つきの手紙と利用者の自筆の言葉を添えて家族に送っている。	家族とのコミュニケーションを大切にして信頼関係を深め、意見や要望を聞く機会を増やす。	イベント・行事等の案内時、参加の有無だけでなく意見や要望なども聞き、コミュニケーションを深めていく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。